



東広会ニュース

10月号

2006年(平成18年)

Vol.28

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル14F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp

J企交媒局「2006年度上半期売上」まとまる

2006年度上半期の売上実績がまとまった。交通媒体局の売上高は222億1百万円で前年比103.5%となり、昨年から好調を引き続き維持した。車両メディアの売上は130億6千6百万円で、対前年+2億6千1百万円(102.0%)、駅メディアは89億9千万円で、対前年+4億7千5百万円(105.6%)といずれも前年を上回った。

○車両メディア(前年比102.0%)

車内ポスターは、「中ぶり」が7days・5daysの通年商品化及びドア横新Bとのセット商品の販売を行ったものの出版社の大幅出稿減などにより減収となり、一方で大口出稿を獲得した「まど上」や「ドア横新B」「ステッカー」の販売が好調で車内ポスター全体で増収となった。

「ADトレイン」は、山手線以外の線区及びADストラップへの出稿減により減収となった。「車体広告」は、全体的に出稿が減少し減収となった。

「トレインチャンネル」は、需要に即し「ステーションブレイク(SB)」料金改定を行い、上期は販売も好調で満枠を維持した。12月末からは中央線でもトレインチャンネルが導入され、幅広い展開が期待される。

○駅メディア(前年比105.6%)

「駅ポスター」は、一般枠が低調であったものの、昨年度より商品構成を見直した各種セット商品が好調で、NTTドコモやサントリ1等の大口出稿があったこともあり増収となった。

■2006年度上半期実績

(単位:百万円)

■2006年度上半期実績				(単位:百万円)
媒 体		2005年度 上半期	2006年度 上半期	前年比
車両 メ デ ィ ア	車内ポスター	10,973	11,174	101.8%
	ADトレイン等	622	559	89.8%
	車 体 広 告	728	529	72.7%
	トレインチャンネル	482	805	166.8%
	計	12,805	13,066	102.0%
駅 メ デ ィ ア	駅 ポ ス タ ー	2,448	2,539	103.7%
	S P メ デ ィ ア	1,243	1,383	111.3%
	サインボード	4,501	4,589	102.0%
	フリーペーパーラック ラッピング店舗	322	478	148.3%
	計	8,515	8,990	105.6%
その他 (オレンジカード・調査)		127	145	114.2%
合 計		21,447	22,201	103.5%

「SPメディア」は、「集中貼」SPボード」が好調で、新規媒体としては、ゲートウェイ広告(NTTドコモ)、東京駅丸の内ドーム飛行機展示(松下電器)、ラック付アドビラー(リクルート)、東京駅仮囲いシート貼り(NTTレゾナント)等を展開した。

「サインボード」は、「つくばエクスプレス」と「JR貨物」の広告媒体の販売、登戸・目黒・町田・大崎の計画開発媒体の販売及び「渋谷ペンディングスクエア(ネスレジャパン)」等の新規開発媒体等により増収となった。また、フリーペーパーラックの追加設置(リクルート、求人ジャーナル、アイデム、アルバイタイムス、サイファ)を行った。

次世代媒体として「池袋デジタルサインボード」の実証実験を8月21日から開始した。また、「Suica」機能を活用した新たな交通広告媒体として「Suicaポスター(Suipo)」を商品化し、7月31日から第一弾の展開を開始した。「白色LED光源」を使用したサインボードの展開も拡大し横浜・登戸・町田で行った。横浜では曲面型のLEDサインボードを設置した。

海浜幕張駅で展開

「ルネサステクノロジ」

「ルネサステクノロジ」は、情報・通信およびエレクトロニクス関連の展示会「CEATEC JAPAN 2006」の開催に合わせ、会場最寄の海浜幕張駅で大規模な広告キャンペーンをおこなった。

同社はこれまでエレクトロニクス専門誌に出稿してきたが、10月3日(火)～7日(土)まで幕張メッセで開催される展示会に合わせ、海浜幕張駅で、フラッグや横断幕掲出可能なメッセアドバック他、ポスターやシート広告といった多種多様な展開を行った。



■展開内容



話題となった中づくり特殊広告

サントリー「伊右衛門」

秋の紅葉を立体的に表現した中づくり特殊広告が登場し、利用客の注目を集めた。

展開したのはサントリーの緑茶飲料「伊右衛門」。これまでも日本の四季を織り込んだ広告を展開しており、今回の中づくりも、写真のように紅葉をあしらっている。掲出されたのは9月27日(木)～10月1日(日)(3線群)。



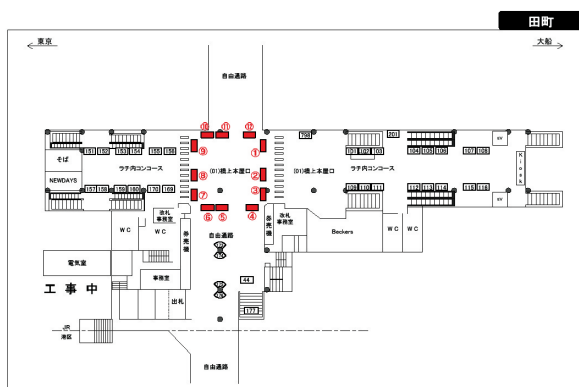
サントリー「伊右衛門」中づくり(9月27日～10月1日/3線群)

新規開発サインボード発売!

J企は「田町駅/橋上本屋口(改札外)」サインボード開発の販売概要を9月14日(木)に発表した。

契約期間は1年、契約期間中の内容変更は原則としてできない。申込締切は10月6日(金)。

媒体サイズ、設置箇所、広告料金等、詳細についてはJ企交媒局サインボード部までお問い合わせください。



田町駅 橋上本屋口(改札外)

新型車両「E233系」公開

中央線に12月から順次導入される新型車両「E233系」が公開された。トレインチャンネルは山手線同様の15インチモニター。システムの車内における伝送回路がすべてデジタル化されたことにより画質が向上し、特に静止画の再現性が格段に良くなる予定。

車内にはつかまりやすいようにカーブさせた握り棒を配置し、優先席や女性専用車両ではつり革と荷棚の位置をほかの箇所より5センチ低くするなど、高齢者や女性、体の不自由な人に配慮された構造になっている。



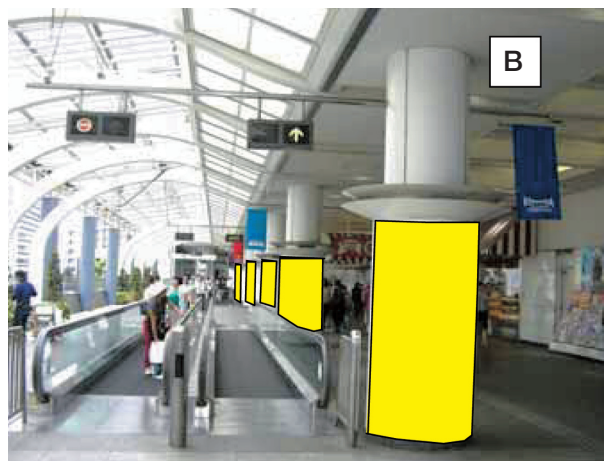
E233系車内



女性専用車両ではつり革・荷棚が低くなっている



E233系車両のトレインチャンネル



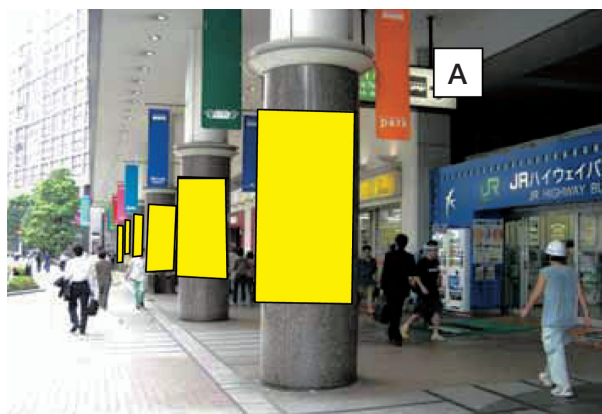
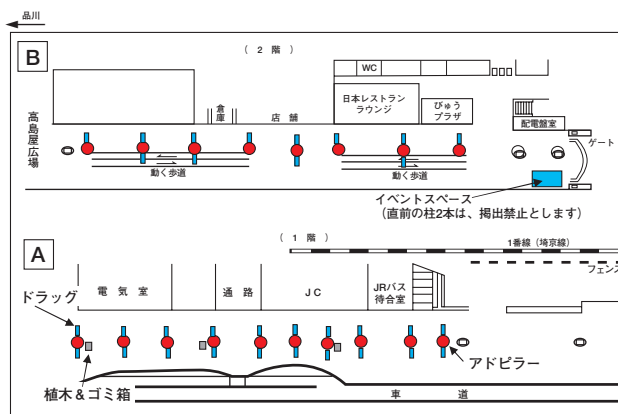
新宿駅新南口に新規SP媒体「新南口アドピラー&フラッグ」が開発され、掲出は11月1日(水)以降に可能となっている。

商品にはA・Bがあり、Aは新南口1F、アドピラー10本とフラッグ20枚(意匠40面)、Bは新南口2F、アドピラー8本とフラッグ12枚(意匠24面)で構成されている。

サイズ、広告料金、設置箇所等については、交通媒体システムのメディアガイドダンスに掲載されている。

詳細はJ企交媒局駅ポスター・SP部までお問い合わせください。

新宿駅新南口 「新南口アドピラー&フラッグ」



東広会理事会・各委員会 上期の活動について

東広会では様々な課題や最新の業界動向等の情報を共有化し、媒体社と広告会社が一体となって媒体価値を上げ、収入に結びつけるために、理事会、各種委員会等を開催し、活発な討議を行った。

6月21日(水)第1回理事会、9月14

日(木)第2回理事会を開催した。理事会討議内容は既報の通りである。

各委員会は7月10日(月)に、車両メディア委員会、サインボード・安全委員会、総務委員会、7月11日(火)には駅ポスター・SP委員会が開催された。

各委員会に属する分科会は、車両メディア分科



第2回理事会(9月14日開催)



サイン・安全委員会(7月10日開催)



総務委員会(7月10日開催)



車両メディア委員会(7月10日開催)



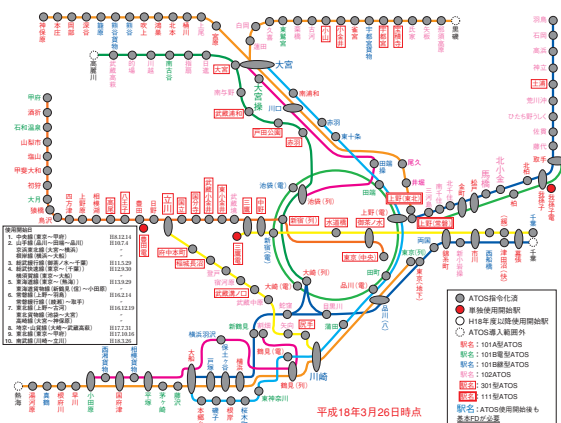
駅ポスター・SP委員会(7月11日開催)

会が7月24日(月)、8月8日(火)、8月22日(火)、9月7日(木)、9月21日(木)に開催。駅ポスター分科会が7月26日(水)、SP分科会が7月27日(木)に開催。サインボード・安全委員会が8月31日(木)、9月13日(水)に開催された。分科会では各社の担当者クラスを中心に構成され、19年度販売施策等実務に即した討議が活発に行われている。

ATOS作業用端末 (新型ハンディターミナル) 23社へ貸与

線路近接作業等を行う登録23社を対象に、(株)東京メディア・サービスがATOS作業用端末(新型ハンディターミナル)を9月27日(水)に貸与した。

新型ハンディターミナルは東京圏輸送管理システム導入区間における運転状況を確認し、意匠交換等、線路近接作業において、作業員の安全確保に有効な機器である。旧来は、総武・中央、山手、京浜東北、東海道線(一部)の各線でした使用できなかった。最近、常磐、南武、埼京および東海道、高崎線の大部分にお



会員名簿変更

いて新型ハンディターミナルの使用が可能となり、今回23社への貸与が実施された。これにより、安全作業の一層の充実が図られることが期待される。

所在地変更

(株)横浜NKB (8月21日付)

〒220-6216

神奈川県横浜市西区みなとみらい

2-3-5 クイーンズタワーC16F

電話・FAXは変更なし

長田廣告(株) (9月20日付)

〒120-0034

東京都足立区千住1-11-2

カーニープレイス千住8F

電話 03-5813-3317

FAX 03-3881-8155

代表者変更

(株)横浜NKB (6月1日付)

代表取締役 滝 久雄氏

東広会事務局からのお知らせ

この度、大野弘氏が事務局に加わりました。大野氏は、これまでJ企から全国鉄道広告振興協会に出向していました。よろしくお祈り致します。